



平成 29 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 トラストホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜久田 匡宏
(コード番号：3286 東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 専務取締役 矢羽田 弘
(TEL. 0 9 2 - 4 3 7 - 8 9 4 4)

(訂正) 「平成 29 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 28 年 12 月 9 日に開示いたしました「平成 29 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

訂正内容と理由

「平成 29 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、平成 29 年 6 月期決算作業の過程において、「その他」の区分のセグメントにて記載しておりました「メディカルサービス事業」は報告セグメントに該当することが判明したため、記載内容の一部訂正を行うものであります。

なお、訂正箇所は _____ を付しております。

【訂正箇所】添付資料 2 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<訂正前>

⑤RV事業

RV事業につきましては、販売体制の構築を最優先課題として取り組んでまいりましたが、人材確保に時間を要したこともあり、販売台数を伸ばすことができませんでした。

以上の結果、売上高 84,445 千円(前年同期比 112.9%増)、営業損失 25,938 千円(前年同期は 9,760 千円の営業損失)となりました。

なお、平成 28 年 11 月には福岡県筑紫郡那珂川町に新店舗がオープンいたしました。引き続き販売体制の構築・強化に取り組み、収益改善を図ってまいります。

⑥その他事業

その他事業につきましては、警備事業、メディカルサービス事業等の既存事業は概ね堅調に推移いたしました。また、当第 1 四半期連結累計期間より、スキンケア商品「ミニユール」の販売に加え、平成 28 年 5 月に設立いたしましたトラストホームエナジー株式会社において、エネファーム及びオール電化等の住宅設備機器等の販売活動を開始、早期の収益化に向け注力してまいりました。

以上の結果、売上高 94,726 千円(前年同期比 7.0%増)、営業損失 38,590 千円(前年同期は 5,048 千円の営業利益) となりました。

<訂正後>

⑤メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」及び「福岡信和病院」の賃貸収入等により概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高 47,208 千円(前年同期比 31.0%増)、営業利益 5,661 千円(前年同期比 34.4%減)となりました。

⑥RV事業

RV事業につきましては、販売体制の構築を最優先課題として取り組んでまいりましたが、人材確保に時間を要したこともあり、販売台数を伸ばすことができませんでした。

以上の結果、売上高 84,445 千円（前年同期比 112.9%増）、営業損失 25,938 千円（前年同期は 9,760 千円の営業損失）となりました。

なお、平成 28 年 11 月には福岡県筑紫郡那珂川町に新店舗がオープンいたしました。引き続き販売体制の構築・強化に取り組み、収益改善を図ってまいります。

⑦その他事業

その他事業につきましては、特に新規事業の早期収益化に向け注力してまいりました。当第 1 四半期連結累計期間より、スキンケア商品「ミニュール」の販売を開始、エコ商品販売事業においては、エネファーム及びオール電化等の住宅設備機器等の販売活動を開始いたしました。

以上の結果、売上高 47,517千円（前年同期比 9.4%減）、営業損失 44,252千円（前年同期は 3,583千円の営業損失）となりました。

【訂正箇所】添付資料 8 ページ

3. 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

<訂正前>

I 前第 1 四半期連結累計期間（自 平成27年 7 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	R V 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,710,453	775,230	545,023	206,944	39,659	3,277,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,273	6,044	842	61	—	8,221
計	1,711,727	781,275	545,866	207,006	39,659	3,285,534
セグメント利益又は損失(△)	157,633	△65,425	31,259	△4,986	△9,760	108,720

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	88,517	3,365,830	—	3,365,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,964	36,186	(36,186)	—
計	116,482	3,402,016	(36,186)	3,365,830
セグメント利益又は損失(△)	5,048	113,769	△1,845	111,924

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 100,317 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102,178 千円及び棚卸資産等の調整額 15 千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	R V事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,689,653	493,719	419,188	202,726	84,445	<u>2,889,733</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,426	6,679	1,565	538	265	10,474
計	1,691,079	500,398	420,754	203,264	84,710	<u>2,900,207</u>
セグメント利益又は損失(△)	184,078	△114,041	△158,740	△12,163	△25,938	<u>△126,806</u>

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	<u>94,726</u>	2,984,459	—	2,984,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	67,625	78,099	(78,099)	—
計	<u>162,351</u>	3,062,558	(78,099)	2,984,459
セグメント利益又は損失(△)	<u>△38,590</u>	△165,397	2,888	△162,509

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去107,294千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,421千円及び棚卸資産等の調整額14千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

<訂正後>

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年7月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター事業	アミューズメント事業	メディカルサービス事業	R V事業	
売上高							
外部顧客への売上高	1,710,453	775,230	545,023	206,944	36,047	39,659	3,313,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,273	6,044	842	61	二	—	8,221
計	1,711,727	781,275	545,866	207,006	36,047	39,659	3,321,581
セグメント利益又は損失（△）	157,633	△65,425	31,259	△4,986	8,632	△9,760	117,352

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	52,470	3,365,830	—	3,365,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,964	36,186	(36,186)	—
計	80,434	3,402,016	(36,186)	3,365,830
セグメント利益又は損失（△）	△3,583	113,769	△1,845	111,924

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去100,317千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△102,178千円及び棚卸資産等の調整額15千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						計
	駐車場事業	不動産等事業	ウォーター 事業	アミューズ メント事業	メディカル サービス事業	R V事業	
売上高							
外部顧客への 売上高	1,689,653	493,719	419,188	202,726	47,208	84,445	2,936,942
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,426	6,679	1,565	538	—	265	10,474
計	1,691,079	500,398	420,754	203,264	47,208	84,710	2,947,416
セグメント利益 又は損失（△）	184,078	△114,041	△158,740	△12,163	5,661	△25,938	△121,145

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	47,517	2,984,459	—	2,984,459
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	67,625	78,099	(78,099)	—
計	115,142	3,062,558	(78,099)	2,984,459
セグメント利益 又は損失（△）	△44,252	△165,397	2,888	△162,509

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 107,294 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,421 千円及び棚卸資産等の調整額 14 千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。